



1月

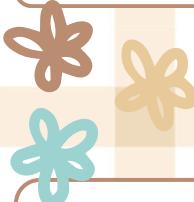
りすだより



発行:嶺井

りす組での生活も残り3か月となりました。日々の生活や遊びの中で、一人ひとりが「できた」「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、少しずつ自信をもって取り組む姿が見られています。これからも子どもたちの思いに寄り添いながら、進級に向けての準備を無理なく進めていきたいと思います。身の回りのことに挑戦したり、友だちや保育者との関わりを楽しんだりする姿から、成長を感じる場面も増えてきました。

寒い時期ではありますが、子どもたちが安心して元気に過ごせるよう、体調にも気を配りながら、丁寧に関わっていきます。



進級に向けて



食事の時間には、次のクラスで使用する少し高めの机や椅子に慣れる練習をしています。足置きを使って姿勢を整えながら、落ち着いて食べることを意識し、一口ずつ丁寧に食べようとする姿が見られます。スプーンの持ち方も、これまでの持ち方から下手持ちに挑戦するなど、食事動作の面でも意欲的に取り組んでいます。一人ひとりのペースを大切にしながら、進級を見据えた関わりをしていきたいと思います。

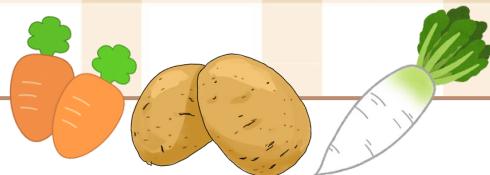
冬の遊びを楽しんでいます



寒さが厳しい日もありますが、天気の良い日には戸外に出て、冬の澄んだ空気を感じながら元気に体を動かして遊んでいます。三輪車に挑戦して足で一生懸命こいだり、ロッククライミングの遊具に手足を使って登ろうとしたりと、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、興味・関心につながる遊びを取り入れています。繰り返し遊ぶ中で、少しずつ体の使い方が分かり、自分なりに工夫する姿も見られるようになってきました。

散策では、落ち葉を踏んだ時の音や感触を楽しんだり、冷たい風に頬をなでられて季節の変化を感じたりと、冬ならではの自然に親しんでいます。木の実や花、小さな発見を見つけると、すぐにお友達や保育者に知らせ、「きれい！」

「あった！」と嬉しそうに言葉で伝える姿も多く見られます。こうしたやりとりを通して、友だちとの関わりや、感じたことを共有する楽しさも育っています。



冬野菜に触れて

りす組では、じゃがいも・大根・人参の冬野菜を植え付けました。土に触れながら一つひとつ植える体験を行い、「大きくなるかな」「はやくできないかな」と、生長を楽しみにする姿が見られました。自分たちで植えたことで、野菜への興味や親しみもより深まっているようです。後日、芽が出た様子を見に行くと、「あ！なんか出てる！」「できた！」と嬉しそうに指を差し、じっと観察する姿が見られました。また、他のクラスで育てている葉野菜などにも目を向け、「これはなにかな？」と不思議そうに眺めたり、保育者の話を聞いたりしながら、畑での発見を楽しんでいます。これからも野菜の生長を見守りながら、自然に触れる経験を大切にしていきたいと思います。



きりんだより



発行者：天久

きりん組で過ごす日々も、残り3カ月となりました。これまで、行事やさまざまな活動を通して、子ども達ができる増やしながら成長した姿に、日々喜びを感じています。進級に向けて色々な取り組みの中で子どもたち一人ひとりに寄り添いながら見守っていきたいと思います。

年末年始は家族で過ごす時間も長くなり、お出かけの機会も増える時期かと思います。寒暖差の激しい季節でもありますので体調に気をつけながら、親子でゆったりとした時間をお過ごしください。年明けに、また元気な姿で登園してくれることを楽しみにしています。

いっしょにあそぶってたのしいね



大きな行事を経験し、自信をつけた子どもたち。これまで一人ひとりで楽しんでいた遊びも、少しずつ友だちや保育者を自分から誘い合い、集団で一緒に遊ぶ姿へと広がってきています。園庭では、バトンタッチリレーや鬼ごっこ、けいどろ、ドッジボールなど、体を思いきり動かしながら遊ぶ姿が多く見られるようになりました。また、室内でも爆弾ゲームや椅子取りゲームなど、繰り返し遊ぶことで簡単なルールや順番を理解しながら、友だちと関わって遊ぶことを楽しんでいます。また、行事を通して「次はどうしたらいいかな」「○○の番だよ」と自分たちで考えて声を掛け合う姿も増え、集団の中で行動する力や友だちと一緒に取り組む楽しさを感じられるようになってきました。また、毎朝のクリーンデーの際に、「赤チーム・白チームの2チームに分かれて園庭の葉っぱ拾いや石ころ拾いを競争しよう」と保育者が呼びかけると早速、白チームが「作戦会議しよう」と円陣を組み「頑張るぞー！」と言うと、それに応えるように赤チームも円陣を組み、応援合戦が始まりました。どちらのチームも自分たちの役割を理解しており、応援が終わると友だちと声を掛け合いながら葉っぱ拾いや石ころ拾いを楽しんで取り組む姿が見られました。

このように、遊びや活動を通して友だちと気持ちを一つにし、集団で取り組む経験を重ねながら、子どもたちはさらに自信を深めています。これからものびのびと体を動かしながら、友だちとの関わりや集団で遊ぶ楽しさを大切にしていきたいと思います。

手をつないで、すだつ子ファームへ



ひよこ組・りす組さんと合同で、すだつ子ファームへ行きました。朝、「今日は一緒に行くよ」と伝えると、「楽しみ！」と目を輝かせ、期待いっぱいのきりん組さん。自分たちの準備が終わると、「行こう」と年下のクラスの部屋へ迎えに行き、靴を履かせてあげたり、帽子を被せてあげたりと、進んでお世話をする姿が見られ、すっかり“お兄さん・お姉さん”的表情で、優しく手をつないで出発しました。道中では、「こっちだよ」「手をつながないと危ないよ」と声をかけ、年下の子を気遣う姿に、心の成長を感じました。すだつ子ファームに到着すると、自分たちが植えた野菜の生長を嬉しそうに観察したり、クワ体験にも挑戦するなど、意欲的に関わる姿が見られました。年下の子に付き添いながら過ごす中で、「たのしかったけど、ちょっとつかれた～」と気を張って疲れたという素直な気持ちを言葉にする場面もありました。今回の異年齢交流を通して、年下の子を思いやりながら行動し自分の気持ちも言葉で伝えようとする姿に、きりん組さんとしてまた、一周り大きく成長した姿を感じました。



クリスマス制作



園舎にクリスマスのイルミネーションが灯ると、「きらきらして！」「サンタさん来るかな？」と、指をさしクリスマスに期待を膨らませている子ども達。

制作では、ブーツづくりと折り紙でサンタクロースを折り、一つ一つの工程を自分で取り組み分からぬところは保育者に確認しながら、指先を一生懸命動かして取り組んでいました。完成すると、「見て見て！」と友だちに見せ合い、笑顔でやりとりを楽しむ姿が印象的でした。クリスマスを心待ちにしながら、作る楽しさや友だちと気持ちを共有する時間となりました。



冬野菜



冬野菜の栽培に向けて、すだつ子ファームで畑の草取りやうねづくりを行い、大根やネギの種まきをしました。なかなか抜けない草に「うーん！」と力を込めて草を抜こうとする姿があり、根っこまで抜けると「見て！大当たり！」「いっぱいとれたよ」と大喜び。抜いた草を友だちと見せ合ったり、雑草の種の数を数えたりしながら楽しく取り組んでいました。種をまいた後は、「早く食べたいね」「大きくなれ～」と会話をしながら水やりをする様子から、野菜への親しみや期待が感じられました。これからも定期的に畑へ足を運び、子ども達と一緒に野菜の生長を観察し、育てる面白さや食べる喜びを感じられるように食育活動を行っていきたいと思います。



ぱんだだより



発行：安次富

朝夕少しづつ冷え込み、季節の変化を感じられるようになりました。最近では、園庭の葉が風に舞っている様子や葉の色の変化に気づき、会話を楽しむ姿や作品作りを楽しんでいます。

卒園まで残りわずかとなりました。子どもたちそれぞれが、自分のペースで大きくたくましく成長してきた一年だと思います。これからも友だちや保育者、多くの人の関わりを深め、様々な経験を楽しみ充実した日々を過ごし、心も体も更に成長していくようにしていきます。



日々の遊びの変化



先日行われたすだつ子 Days では、当日までの日々のあそびや取り組みを通して年長児として、自信がつき、大きく成長したと思います。また友だちの存在も意識するようになり得意な子が教えあげたり「できるようになるよ」「応援してくれたからできた」など励まし合うことで、信頼関係や集団性も高まったように感じます。

自分が得意とするあそびに夢中になっていた子どもたちが、更にあそび込んだり、別のあそびに挑戦しながら、得意な子に「ねえ、どうすれば跳べるの?」と相談すると「ジャンプすればいいんだよ」と教えてもらったり「〇〇も竹馬にのれるようになりたい」と言う友だちには「最初は足の指も痛いけど大丈夫だよ。」と自分が経験したことを伝え励ましています。5歳児だからこそ、子ども同士での会話ややり取りが充実してきています。

朝夕の園庭では、ぱんだ組さんがバスケやサッカーしていると「いれて~」とぞう組さんやきりん組さんが嬉しそうに順番待ちをする姿も更に増えています。時には「〇〇上手だね」と年下の子に褒められ照れる姿も見られます。また長縄跳びでは「さっきは〇〇だったから合わせて〇〇だね」と自分たちで数え楽しんでいます。これからも集団性や肯定感を育み就学に向けて期待を高めていきたいと思います。

新しいお友だちが仲間入りしました。

松宮 璃杏さん（まつみや りあん）

おゆうぎや体を動かすことが大好き、絵を描くことも得意！笑顔いっぱいの表情や手足の動きなど、細かな部分も表現しています。また友だちがエイサーを踊っていると興味があり一緒に踊り楽しんでいます。

楽器演奏の発表♪



以前から楽しんでいた楽器遊び！すだつ子 Days では「ちょうちょう」「かえるのうた」など自分たちで演奏した曲で体を動かすことを楽しみました。運動遊び同様で「もっと弾きたい」「今度はどんな曲が弾けるかな？」と積極的に練習していました。本番では事前に録音して演奏する姿を見てもらうことができなかったので、どこかで発表したいという子どもたちの思いや、真剣に集中して演奏している姿を披露したい！と 12 月の誕生会で発表しました。子どもたちは「保育園のみんなに見てもらう、聞いてもらう」ことに期待し練習を重ね、発表することで、見られている緊張感もありましたが、何よりも「達成感」の方が勝ったようです。思うように弾けなかったり、最後まで弾けない子もいますが、そこには「教える？」と頼もしい友だちが参上しています。

発表だけでなく、日々のあそびの中で、音楽を楽しみ様々な楽器に触れ、楽器の扱い方を通してものを大切にすることを習慣化できるようにしています。

もうすぐ 1 年生



靴下を履く習慣がだいぶ定着してきました。

1 月からは日中、汗をかいたり汚れた時だけ、着替えますので一組は持たせてくださいね。またハンカチを準備してもらい、手拭きや汗を拭く時に、自分の持ち物を使う、自分で物を管理するということに、年長児として取り組んでいきたいと思います。



ほけんだより

発行：山川



せきの風邪、おなかの風邪がはやりやすい季節になってきました。年末年始の慌ただしい時期と重なりますが、規則正しい生活と手洗い、うがいで、風邪予防に努めましょう。

健康に気をつけて、よい年を迎えましょう。

ごちそうはひと工夫で楽しんで

お祝いムードで気がゆるみやすい時期ですが、子どもの誤飲・窒息には十分注意しましょう。



もちや豆類による窒息に注意

お正月の定番のおもちや黒豆（豆類）は窒息の危険が高い食べ物です。もちは小さく切って一つづつ水分と一緒に食べるようにしましょう。豆類は刻むか、子どもには控えるようにしましょう。

生活リズムに気をつけて

ゆっくりしたい時期なので、夜更かし、朝寝坊になります。なるべく普段どおりの生活リズムで過ごせるよう心がけましょう。



急病に備えよう

地域の休日診療・救急診療の担当を確認しておきましょう。帰省先や旅行先でも調べておくと安心です。保険証や医療証も忘れずに持っていきましょう。

感染症の季節を乗り切りましょう！

冬はインフルエンザ、RSウイルス感染症、ウイルス性胃腸炎などの感染症が流行しやすい季節です。小さな子どもほど感染症にかかると進行が早く、重症化するおそれがあります。体調不良のサインがあったら早めに休ませた方が早く回復します。無理せず、家庭でゆっくりと過ごしましょう。

こんなときはおうちで様子を見ましょう

前日から...

【24時間以内に】

- ①下痢を繰り返す
- ②嘔吐が何度もあった
- ③38°C以上の熱が出た
- ④解熱剤を飲んだ

どれか一つでも当てはまる場合は、症状が治ったかどうかを見極めたり、体力を回復させたりするためにも様子を見るようにしましょう。

【夜間に】

- ⑤咳が出たりゼイゼイしたりしてあまり眠れなかった

熱が出ていても睡眠不足や咳は体力を奪います



朝に...

【朝食を食べたら】

- ①体温が37.5°C以上
- ②平熱より1°C高い
- ③嘔吐があった
- ④下痢があった

小さな子どもは体調をうまく伝えられません。「いつもとちがう」サインを見逃さないようにしましょう。

感染性(ウイルス性)胃腸炎にご注意！



ウイルス性(ノロ、ロタ、アデノ等)の胃腸炎はこの時期流行しやすい感染症です。「流行性嘔吐下痢症」と呼ばれるとおり、激しい嘔吐と下痢が起こります。ほとんどの場合1~3日で回復しますが、脱水症状を起こすことがあります。油断はできません。病院で「胃腸炎」と診断されたら、感染するものであるかどうかの確認をしましょう。

胃腸炎を引き起こすウイルスは感染力が強く、嘔吐物で汚れた衣類や床などの消毒には塩素系消毒薬が有効です。手袋やマスクを使い、換気も十分に行いましょう。



発熱等の体調不良の際のきょうだい児の家庭保育について、保護者の皆さまにはご理解ご協力をいただきありがとうございます。回復期においては、普段通りの食事と生活を送ることを登園の目安とし、すべての子どもたちが集団生活を健康に過ごすことができるようご配慮をお願いいたします。園も感染症予防のため、毎日の消毒等を継続して行っています。





1がつ 食育だより

発行:伊佐

おおきくなーれ冬野菜



各クラス、畠作りから種蒔き、苗植えまで完了した畠。野菜の種類に合わせて、畠を分けたり高さを変えています。送迎の際には、ぜひお子さんと一緒にすだつっこファームへ足を運んでみてください。



野菜の芽クイズ

何の野菜の芽でしょう？

①



②



③



④



答えはお子さんに聞いてみてください。それでもわからなければ、担任へ♪
ちよこっとエピソード

ぞう組さんが畠で野菜の成長を観察しました♪
芽を見つけると「ねぎが一番！」「大根は二番！」と
大盛り上がり。

あとから植えた野菜が先に芽を出し、「え～？なんで～？」と
不思議そうな姿も。毎日の畠タイムを楽しんでいます♪



沖縄行事 ムーチーとは？

ムーチーってなあに？

ムーチーは、
月桃の葉で包んで蒸した
沖縄の冬の伝統おもち。



旧暦12月8日には
厄払い、
家族の健康祈願
として、
神様にお供えします。



赤ちゃんが生まれ初めて迎えるムーチーの日を
「初ムーチー」
と呼ばれ、
病気をせず、健やかに育ちますように強く、
たくましくなりますように
と家族みんなで願いを込めて、
親戚や近所にムーチーを
配ったりしてお祝いします。

「鬼餅(ウニムーチー)」

とも呼ばれ、
悪いものを追い払い、
元気に育ちますように…
そんな願いが込められています。

子ども達の馴染みの歌 ムーチーの歌

ムーチー ムーチー ウニ (鬼) ムーチー

師走八日のムーチーびーさ (寒さ)

みんなで囲んだシンメーナービ (四枚鍋)

まだかな まだかな できたかな

サンニン (月桃) のかおり 胸いっぱい広がるよ



ムーチー ムーチー カムーチー

ムーチー食べ食べ 鬼退治

なちぶー (泣き虫) ふんでー (わがまま) やっつけろー

いっぺー (とても) ちゅーばー (強い子) になるんだぞ

ガジュマルのように 大きくなるんだぞ

保育園には、子ども達が
行事の由来を理解できるように
卒園児記念制作で作られた
手作りの紙芝居があります。



1月15日(木)世代間交流～お弁当会の日～

ぞう組の世代間交流としておじいちゃんおばあちゃんと一緒に
ムーチー作りに挑戦します。作ったムーチーは、
おやつの時間にみんなでいただきます♪

お楽しみに。



お米ができました

子どもたちと一緒に育ててきた稻を脱穀し、10キロのお米ができました。沖縄では、暖かい気候をいかして、一期作・二期作と、年に2回お米づくりを行います。二期作は、通常よりも早い時期に田植えを行うため、沖縄のお米は日本でいちばん早い新米としても知られています。沖縄のお米はふっくらとした粒が特徴で沖縄の郷土料理とも相性が良く、沖縄の炊き込みごはん(ジューシー)にもぴったりです。

二期作



1年



同じ土地で同じ作物を2回栽培する



11月誕生日ケーキ



11月に行なわれたすだつ子Days。一人ひとりが見せて
くれたがんばる姿や達成感にあふれた表情、仲間と過ごす中で
生まれたたくさんの笑顔。「よくがんばったね」の気持ちを
込めてケーキで表現しました。